

令和3年度 第2回 大洗町地域公共交通会議 議事録

会議の名称	令和3年度 第2回 大洗町地域公共交通会議
開催日時	令和4年3月25日(金) 14:00~15:25
開催場所	トヨペット スマイルホール 大洗(大洗文化センター)大会議室
出席者	関委員、飯田委員、山戸委員、大里委員、山田委員、飛田委員、角田委員、川上委員、鈴木委員、牧瀬委員、菅原委員、小林委員、大川委員、津幡委員、高柳委員、中島委員（代理：國井委員、松金委員、中村委員、長谷川委員） (出席委員数:20名) 事務局:大洗町 まちづくり推進課 渡邊課長、海老澤副参事、菅谷係長、坂本主任、鹿志村主事
欠席者	服部委員、吉川委員、磯野委員、阿部委員
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. 会長挨拶 4. 協議事項 (1)前回の意見交換について (2)町内の公共交通の問題点の整理 (3)大洗町地域公共交通計画(仮)の骨子と今後のスケジュールについて 5. その他 6. 閉会
議事の経過及び発言の要旨	別紙の通り

## 【議事の経過及び発言の要旨】

協議事項まで、まちづくり推進課渡邊課長が司会を務めた。

### 1. 開会

14:00 に開会した。

### 2. 委嘱状の交付

新たな大洗町地域公共交通会議委員に対し委嘱状の交付を予定していたが、都合により欠席のため、口頭による紹介のみ実施した。

### 3. 会長挨拶

委員の皆様におかれましては、年度末のお忙しいところ、本会議へのご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本町の交通行政にご理解とご協力を頂いておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。

本会議におきましては、町民の方々や事業者の皆様から様々なご意見を頂きまして、住民の足として、また観光の足として、持続可能な地域交通行政の対応策についてご協議いただきますとともに、それらを踏まえた、法定計画である地域公共交通計画の策定にあたり、ご検討を賜る場となっております。

昨年の12月に第1回会議を開催した際には、事務局からの説明の後に、様々な観点から、委員の皆様から多岐にわたる御意見を頂いたところです。本日は、前回皆様からご提起いただきました町内公共交通を取り巻く様々な課題や問題につきまして、事務局の整理した内容と、現時点での事務局の考えや対応案について、皆様にご議論いただくためのたたき台としてお示しさせていただき、更なる議論を頂きたいと思っております。その上で、前回ご議論いただいた内容を踏まえ、地域公共交通計画全体のイメージを掴んでいただくために、骨子案をお示しさせていただき、ご意見を頂きたいと考えております。

本町の公共交通に関しましては、先日開催された第1回議会定例会においても、地域の高齢者の方々の日常生活における移動手段の確保の必要性につきまして、議員の皆さまよりご意見やご提言を頂いているところですので、委員の皆様におかれましては、町民の日常生活における地域公共交通の維持確保に向けて、忌憚のないご意見を賜りますよう、改めてよろしくお願いいたします。

### 4. 協議事項

(1)前回の意見交換について 及び (2)町内の公共交通の問題点の整理 について、関連するため、一括して事務局より説明が行われたのち、各委員からの意見を頂いた。

#### 委員

・大洗町は水戸市と隣接しており、鉄道やバスも通っており、県内では恵まれた状況であると考えられる。町の都市構造についても、人口集中地域がまとまっており、過疎地的なところは少ない。そうい

った部分も考えて計画の策定を進めるべきと思う。また、対応案には「検討する」といった記載が多いが、検討することも大事だが、まず先に課題を整理し、その次に検討していくのが本来の流れではないかと思う。

- ・来年度はJRが行う大型の観光キャンペーン、DC(ディスティネーションキャンペーン)が茨城県で行われることとなっている。鉄道で来ることが前提になっているため、鉄道で来た観光客を、どのように2次交通に繋げていくのか、そういったところも踏まえながら、議論をしていければと思う。

#### 委員

- ・計画策定にあたり、国補助金の申請をすることと思うが、そこで行う調査事業の結果を踏まえて、改めて課題を抽出して、目標を設定して施策を考えるのが良いのではないかと。今回の資料は委員の皆様のご意見であり、課題の一つとして大事なものだと思うが、調査の結果、町民からあがった声を踏まえて、計画の策定を目指してほしい。

#### 委員

- ・公共交通を考える中で、何が一番、大洗町にマッチしているのかを考えることが、まずは大事。どういう交通が、大洗町に合うのか、常に考える必要がある。資料にあるように、様々な課題があるなかで、どういった交通手段で進めるのか、よく検討してほしい。

#### 委員

- ・日本は国策として自動車を推進してきた部分があり、全国で自家用車の利用が多いのが現状。SDGsの視点を持ち、環境対策と併せて公共交通を活かしていくといった流れを取り入れてもいいと思う。現在は宅配サービスも充実しており、外出する必要性が薄れてきている部分もある中で、公共交通の利用者を増やすことは大変かもしれないが、新しい流れへのきっかけづくりとして進めて頂くことも良いと思う。
- ・県でも公共交通計画の策定を予定しているが、県内各地域の公共交通計画との整合性があるものや、地域公共交通の支えとなるような計画になるよう、検討していきたい。

#### 委員

- ・前回の皆さんの意見に対して、事務局で対応案を作ってもらっているが、なかなか一足飛びにはできないのが現実。様々な課題の中で、優先的に何をやるのか、踏み込んで議論することが必要。住民の日常の足なのか、観光客向けなのか。ただ、まずは地元住民の皆様にとって使いやすい公共交通を考えることが一番ではないか。身近なところでいえば、バスと列車との接続性の向上など、そういったところから進めるべきと思う。将来的には、観光客の交通対策についても会議の中で議論をしていければ良いと思うが、まずは町民の皆様のご意見が優先されるべきと思う。

#### 委員

- ・資料を見て、問題点や課題が非常に多く、すべてクリアにするのは骨が折れると感じた。
- ・商船三井フェリー(株)では、先日、北海道～大洗間フェリーの自動無人航行に成功した。これは人

を減らすための取り組みではなく、船乗りも高齢化が進んでおり、ヒューマンエラーを少しでも無くすため、AIを活用していこうという取り組みである。AI技術は非常に発達してきているため、こういった技術を使い、免許を返納した高齢者などが安心して使えるような公共交通機関を目指していければと思う。

#### 委員

- ・保護者からはバス停の位置に関するご意見がある状況。全体として、保護者や児童を含め、住民のニーズを把握した計画を策定できるよう進めていきたい。

#### 委員

- ・町にとっては、来訪する観光客の2次交通の不足が永遠の課題となっている。令和2年9月には、大洗駅の隣に観光情報交流センターうみまちテラスが開設し、ひたちなか市にある那珂湊駅との相互乗り入れ可能なレンタサイクルの取組みを実施してきた。現在は、銚田市にある酒沼駅とも相互乗り入れを実施するなど、全国的にトレンドとなっている自転車を活用して、2次交通の充実に努めている。
- ・来年度、うみまちテラスにおいて、電動キックボードやトゥクトゥクの導入について、国交付金を活用し実施する予定となっている。

#### 委員

- ・本会議では、新たな公共交通の導入についても話が行われているところだが、せっかく新たな交通手段を実施しても、外に出ていく需要がなければ、利用は増えないのではないか。そういった考えのもと、町都市建設課では、大洗駅前の魅力を向上させるため、ロータリーの改修を完了したところ。また、資料にもあるが、イベント広場やマルシェの開催など、地元団体と連携して、駅前の賑わい創出にも努めている。今後も、町内の方が、公共交通を利用して駅に行きたくなるような環境づくりを進めていきたい。

#### 委員

- ・町生活環境課では、運転免許の返納者に対し、コミュニティバス回数券の交付事業を実施しており、年間25人程度が利用しており、町全体では、年間60人前後の方が運転免許の返納を行っている。また、町民約1万6千人に対し、運転免許を持っている方の数は約1万1千人ほどおり、そのうち65歳以上の方が3千2百人ほどとなっている。人口から免許所有者を差し引きすると、およそ5千人の方が免許をもっていないこととなるが、その数字が、免許返納者や未成年者など、いわゆる交通弱者の数となってくると考える。

#### 委員

- ・事務局には、海遊号のそもそもの立ち上げの経緯について、今一度思い出して頂いたうえで、海遊号の運行について一から検討しなおしてほしい。資料には、町民と観光客の輸送を両立させるような輸送を目指すといった記載があるが、福祉の立場から言えば、ナンセンスだと思う。観

光客が巡りたい場所と町民が日常生活で巡りたい場所はリンクしない。

- ・今回策定する計画は、令和9年度までの長期の計画だと思うが、現状、大洗町では毎年1%ずつ高齢化率が上昇しており、現在は約34%となっている。このまま進めば、令和10年度には高齢化率が40%ぐらいになる。町民の4割が65歳以上となった場合、子どもたちが5百から6百人程度で、残りが現役世代。そういった状況になることを考えると、公共交通計画を策定するにあたり、どこを向くべきなのか、おのずと見えてくると思う。また、大洗町には約7,000の世帯があるが、その3分の1は町民税非課税世帯となっていることも重要なポイントだと思う。
- ・町内診療所のお医者様から言われたことをお伝えするが、「海遊号は、観光客と町民、どっちを乗せたいのか、どういう目的で走っているのか、よくわからない。もっと小さい車体で、桜道や五反田などの、町内の細い道に入っていけるようにしないといけないのではないか。診察を終えた高齢者の方々が、一時間近くもバスを待っているのは見ていられない」といったご意見だった。そういった部分も改善できるような計画を作っていければと思う。

#### 委員

- ・課題等の中で、駅のバリアフリー対応について、記載があるが、今般、国と町の支援により、来年度中に大洗駅にエレベーターを2基設置するよう、事業を進めている。また、併せてトイレのバリアフリー化も行うことから、これからは高齢者や障害者、大きな荷物を持った観光客など、多くの利用者の皆様にとって、より使いやすい駅になることと思う。
- ・ICカードの利用ができないといった点について、大洗鹿島線はJRに挟まれており、ICカードを導入する際には、suicaの導入が理想だと考えているが、千葉県のある事例では、suicaの導入に数億円、毎年のメンテナンス費用が1億円程度といった、多額のコストがかかっており、そういったコスト面がネックとなり、導入に至っていないというところ。ただ、ペイペイなどバーコード決済については導入を進めており、そういった部分で利便性の向上に努めている。
- ・大洗鹿島線の区間の中でも、水戸～大洗間は輸送率の高い区間のため、大洗鹿島線においても、公共交通として、利便性の向上に取り組んでいきたい。

#### 委員

- ・タクシーは24時間365日動けることが特徴のため、会社として高齢者の見守り需要や介護タクシーといった、介護分野の事業の充実を図っていきたいと考えている。高齢者が増える中で、車いすやストレッチャーへの対応が増えているので、介護タクシーを充実させたい。また、他市町村の取組になるが、デマンドとしての1000円タクシーやチケットの配布などにも、できる限り対応し、サービスの充実を図っていきたいと考えている。

#### 委員

- ・問題点、課題については、我々の事業にも関連するところだと感じる。どこの公共交通会議でも、似たような問題点が多くなる。時間が合わない、バス停が近くにないなど。それをどうしていくのか、そこが大事。新しく路線を引けばお金がかかる。収益を考えて、対策を考えることが必要。行政として、どこまで町民への公共交通サービスに予算を割けるのか、そこも考えてほしい。お金が

あればバスは走らせられるが、お客が少なければ空気を運んでると非難されることもある。利用者が増えるような公共交通を目指してほしい。

- ・海遊号は観光客と住民の利用があり、数字的には悪くない状況だが、普通の路線バスはもっと厳しい状況である。持続性、継続性についても考えていただき、より良い公共交通を目指してほしい。
- ・課題が多すぎて、まとめるのが難しいと感じる。まずは大きいテーマを決めるなどして、ひとつひとつ解決していくのが良いのではないかと。

#### 委員

- ・大洗町の高齢化率は40%に迫っているほか、低所得世帯が全世帯の3分の1であるといった状況だが、これはむしろどこの地方でも共通しているのではないかと感じる。そういった中で、社会福祉協議会では、町から依頼を受け、高齢者を対象とした買い物ツアーを月に8回ほど実施しているが、利用者の多くは80歳以上で、90歳に近い方の参加もある。ただし、これはあくまでも買い物だけに対する支援なので、例えば通院や銀行や役所へ行くなど、他の用事を済ませるための移動サービスについても、あまりコストをかけずにできるのならば、町と連携して実施できればと思っている。
- ・年金支給額の多い高齢者の方々は、交通サービスへ多少の金銭的な負担があっても問題ないが、非課税世帯になるような方々は、費用負担が大きい交通サービスだと思ってしまうように使えない。買い物支援についても、要介護認定を受けるなどして、介護サービスとして利用できる方々はいいが、要介護認定がないが、足腰が弱っており、買い物支援を受けたくても受けることができない人もいる。そういった人たちでは、とるべき対策は違ってくると思う。低コストで福祉サービスが受けられる手法について、検討していく必要がある。
- ・資料には、水戸市の1000円タクシーについて検討したいといった記述もあるが、そこをどうやったら介護サービスにも繋げられるのか。公共交通が主として対応すべき内容のものと、公共交通では対応できないサービスを分ける必要もあるのかなと感じる。この会議では公共交通について議論されていくことと思うが、そこでは救えない、町民のニーズにも対応できれば良いのかなと思う。有識者の皆様が集まって議論する中で、せめて、方向性だけでも見つけられたらと思う。

#### 会長

- ・大洗町の置かれた状況を考えると、非常に重要な意見だと感じる。高齢化率が上がっていく中で、公共交通で対応できる部分と、そうでない部分について、町としてどこまでできるのか、またどこに光を当てるべきなのか、そういった部分を踏まえた議論を進めていければと思う。

#### 委員

- ・観光についての話になるが、交通渋滞は長年の大洗町の課題である。コロナ禍にあって、むしろマイカー利用者の割合は増えている。観光客にとっても町民にとっても、渋滞の解消は大きな課題であると認識している。その中で公共交通の推進は重要だと考えられるが、大洗町の立地上、

パークアンドライドは難しいのではないかと。たとえば、公共交通を利用して大洗町へきた方に、何かインセンティブを与えられるような取組みはどうか。1000円タクシーのような取組みで、観光客も使えるようなものを考えたり、バスを利用する際の補助など、そういった部分を考えていただくことで、渋滞の解消に向かえば良いなど感じる。

・JRのDCに向け、電車やバスの利用は増えると思うので、そこに向けて何か施策を展開できるというと感じている。

#### 委員

・いかに町内の商工業者を使ってもらうかを考えていきたい。一番、公共交通を使っているのは、高齢者の方々だと思うので、そういった方々の買い物や通院、ちょっとした用足しなどをセットにして考えるのが良いのではないかと。高齢者の方々の移動ルートや移動区間などの把握について、検討課題としてほしい。また、観光客についても、同様に移動ルートや移動方法などの把握について、ぜひ課題として検討してほしい。

#### 委員

・委員の皆様から様々なご意見がある中で、優先順位をつけて考えては、といった話があったが、これだけ様々な課題や問題があると、まずは優先順位をつけてやっていくことが、やはり求められると思う。

・予算額についても、町民目線も当然に大事であるが、町の規模からして適正かどうか議論の余地があると感じる。町の公共交通施策には、これまでの経過もあると思うが、もう一度、原点に戻って考えることも必要ではないかと。3月の常任委員会の中でも、町民の足について様々な意見があった。また、お金があればいくらでもバスを走らせることはできるが、予算の話もある。町民の利便性を確保するためには、ある程度の予算を確保しなければならないという部分もあると思うが、町の財政全体の規模との兼ね合いもあり、どうバランスをとっていくのが重要だと感じる。

・いずれにしても、すべての課題を解決することは不可能ではないかと感じるため、しっかりと取捨選択をしつつ進めていただきたい。

#### 委員

・皆様から様々な意見があったが、事務局にはうまく整理してほしい。私からは、事務局が意見を整理するにあたり、気を付けて頂きたい点について話をしたい。

・これから交通を新たに考えるにあたり、最終的には一つ一つのバス停の場所の議論も、どこかで出てくると思う。もちろん、路線についても、どこを通るのか議論になる。そういった細かいところを決めるにあたり、最後の最後は、やってみて、だめなら変えてみるといった手法も出てくると考えられる。ただ、計画は5年間の予定となっているため、そんなに試行錯誤の時間もないように思う。皆さんの意見やこれからの調査・分析を得て、バス停の細かい位置やどの路線を残すかなど、地図の上で話し合うことも必要になってくるのではないかと。頂いたご意見の中には、具体的に、詳細な場所を想定したものもあるが、事務局もぜひ現地を見ていただき、町内に同じような場所がないか探るなどし、そういったことをやりながら、大洗町全体に共通する課題などが見え

てくるのではないかと思う。そこにたどり着くまでに、頂いたご意見や統計データを使った分析、現地確認の結果や、交通事業者・町民の意見をうまく集約していくこと、そういった手順を進めてもらえれば、優先順位をたてる際にも、立場の違う人たちにも納得してもらいやすいのではないか。そういった材料を集めていく必要がある。頂いたご意見にも、具体的な場所や優先順位の考え方など、相容れないニーズもるが、そういった部分を整理するとより議論がしやすくなると思う。

- ・大洗町は町の形として、北半分と南半分のバランスをどうするのかを考えていくことも必要。この5年間でどちらかをやって、次の5年で別の地区をやるといった考えもありだとは思いが。たとえば、南の方はそれぞれの集落の代表的なところに住んでいる人は便利だが、それ以外の方はどうだろうか。全てを対象にするとすると、結局はデマンドを選択することになると思う。それぞれの集落に分けて考えていくのなら、また別の方法を探る必要がある。北部のほうは状況がまた違っており、ひとつひとつ対策を考えていくことが必要に感じる。
- ・この会議でどんな議論をするのかも大事。たとえば、車がある人は水戸方面へ買い物に行くことが多いと思うが、マイカーがない人をどう救うのか。恐らく、公共交通を導入して水戸方面へ繋げる、といった話にはならないと思う。そういったところも整理して、進めてほしい。
- ・バスを利用して通院する方について、元気な人なら、バスの時間まで、周りのお店で時間をつぶすこともできるかもしれないが、そうでない人は病院の帰りに、1時間近くも何もすることがなくバスを待つだけの状態なのは、それでいいのかなと思う。
- ・福祉交通をどう考えるか。他の地域の公共交通計画を見ると、担い手の一つとして整理をすることも一つの方法。そこに対して行政がどう支援するのかはまた別の話で、この地域にはどういうニーズがあって、どういう方がサポートしているのか。地域によっても違いがある。調べることがあれば、併せて探してほしい。
- ・有償運送を導入するのかどうかは、まだ先の話であると思うが、牧瀬委員からも手続きの話があったので、事務局には頑張っていたきたい。

#### 会長

- ・様々なご意見、ご指摘をいただき、ありがとうございました。これから、大洗町の地域性や、人口、世帯数、所得など、そうしたところを踏まえて、今後、具体的に議論していく必要があると感じる。今後、こういった形で進めるのが良いかなど、事務局からコメントはありますか。

#### 事務局

- ・まずは皆様から様々なご意見を頂いたことについて、御礼を申し上げます。今回の会議にあたっては、前回皆様から頂いたご意見をもとに、事務局としての考えを整理しお示したところですが、今回、新たに多くのご意見を頂いておりますので、事務局として更に考えていかなければならないと感じております。次回の会議に向けて、事務局として整理して行きたいと思っております。

#### 会長

- ・他にご意見などあれば、発言をお願いします。

#### 委員

- ・他市町村の話だが、交通計画を考えると、まちづくりも一体的に考えるところもある。そういったことも検討の一つとしてほしい。また、1000円タクシーについて話があったが、まだ制度化されて日が浅い。水戸市が先行して取組みを始めたものであるが、大洗町で、もし実施する方向になるのであれば、決定する前にご相談いただきたい。必要な手続きもあるし、メリットやデメリットもある。そういったところを事前にご相談させていただきたい。

#### 事務局

- ・大洗町で実際に1000円タクシーを実施するかどうかは、今後、しっかりと調べてからになると考えますが、方向性が決まりましたら、改めてご相談させていただきたいと思います。

#### 委員

- ・1000円タクシー事業を実施する際にはよく調べてほしい。1000円タクシーは、通常のタクシーの閑散時間帯である10時から5時などの時間帯に実施しており、タクシーの利点である24時間365日対応可能なわけではなく、夜中の利用などは難しい。他市町村でも評価されているところはあるが、よく精査して導入を検討してほしい。

#### 委員

- ・計画の策定にあたっては、観光客や町民など、どういった方を対象にするのか検討すると思うが、日常の通勤についても考えてほしいと思う。通勤者は平日5日間、公共交通を利用することになるので、そこを取り込めれば効果も出るのではないかと。役場でも水戸から通勤している人もいます。そういった方が水戸から鹿島臨海鉄道で来て、駅から時間が合うバスがあれば利用者も増えるのではないかと。そういった視点で、通勤としての足についてもぜひ検討してほしい。

#### 委員

- ・1000円タクシーの話があるが、交通空白地で実施するのならいいが、バスと需要を食い合うようなことは避けた方が良く考える。

#### 事務局

- ・1000円タクシーや海遊号について個別に意見を頂いていますが、交通に関してはやはり様々な意見があると感じている。福祉に特化すべきといった意見や、収益を上げるために観光客に特化したほうが良いなど、ある意味で両極端な意見がある。事務局としては、そういった意見に耳を傾けながら、更には実際の現場についての分析を行いながら、進めていきたいと考えておりますので、次回の会議までに議論を整理したうえで、計画の策定と併せてどのように進めていくのか、皆様にお示ししたい。

(3)大洗町地域公共交通計画(仮)の骨子と今後のスケジュールについて、事務局より説明が行われたのち、委員からの意見を頂いた。

#### 会長

- ・これまでの議論を踏まえると、第4章公共交通の現状と課題の部分について、きっちりと整理して、優先順位をつけるなど、そこが一番大事だなと感じる。次回は、この部分について、しっかりと分析したうえで、事務局には資料を整理してほしい。

#### 委員

- ・令和4年度末に計画の策定を完了する予定だと思うが、駆け足のようにも感じる。やりながら考えていくことも大事。最初は社会実験や実証運行などでも良くて、場合によってはなくなるかもしれないことを説明したうえで、試験的に何かをやるということも大事。それが令和5年度になるかもしれないが、その結果を調査し、また皆さんにその先を議論してもらうことになると思う。

#### 事務局

- ・スケジュールについては基本的には令和4年度中の計画策定を目指したいと思うが、皆様から意見をもらいながら、しっかりと計画を作っていきたいと考えておりますので、大洗町の公共交通の発展や住民生活の支援につながるよう、充実した内容のものを作り上げていきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### 会長

- ・計画策定にあたっては、事務局には皆様から頂いた意見を良く整理していただいたうえで、示していただくようお願いしたい。
- ・他にご意見がなければ、進行を事務局にお返りする。

#### 5. その他

事務局より、次回の日程及び委員の変更確認について説明

#### 6. 閉会

15:25 に閉会した。